

# 富士フイルムヘルスケア

<https://www.fujifilm.com/fhc/ja>

地球上の笑顔の回数を増やしていく。

## 【主な紹介製品】

- CTシステム  
「FCT iStream」  
「SCENARIO View Plus」
- MRIシステム  
「ECHELON Synergy」
- X線診断装置  
「CALNEO Beyond」  
「CUREVISTA Apex」
- 骨密度測定装置  
「ALPHYS LF」
- 超音波診断装置  
「ARIETTA S750 DeepInsight」  
「ARIETTA 850 DeepInsight」  
「ARIETTA 650 DeepInsight」



FCT iStream



ECHELON Synergy



CALNEO Beyond

## CT 「FCT iStream」

「FCT iStream (エフシーティー アイ ストリーム)」は、検査効率向上技術 SynergyDrive<sup>※1</sup>により、被検者が検査室へ入室して検査後に退出するまでの一連の検査ワークフローを効率化し、検査時間の削減を実現する。さらに、断層画像から高精細な3D画像を描出する3D画像解析システム「SYNAPSE VINCENT」の基本機能を採用しているため、撮影後にその場で部位の機能解析に適した3D画像を得ることが可能である。

## MRIシステム 「ECHELON Synergy」

ワイドボア1.5T<sup>※2</sup>超電導MRI装置「ECHELON Synergy (エシエロン

シナジー)」は、撮像時に断層画像の位置・角度の自動設定が可能な機能やノイズ除去技術など、AI技術<sup>※3</sup>を活用した機能・技術を搭載したMRIシステムで、検査ワークフローの効率化と検査時間の大幅な短縮を実現する。また3D画像解析システム「SYNAPSE VINCENT Core」を併せて展示し、新しいアプリケーションを紹介する。

この他、3Tと1.5Tの超電導MRIと、0.3T、0.4Tの永久磁石型オープンMRI等、最新の臨床画像、そして富士フイルムグループ独自の先端撮像機能を紹介する。

## 透視付き一般X線撮影システム 「CALNEO Beyond」

「CALNEO Beyond (カルネオ ビヨンド)」は1台でX線透視撮影と一般X線撮影を可能としたX線透視撮影装置。

臥位撮影台だけでなく、立位撮影台でもX線透視に対応しているため、被検者が立った状態や車椅子に座った状態でX線透視を行うことができる。また、AI技術<sup>※4</sup>を活用した「ポジショニングナビ機能<sup>※5</sup>」と「エクスポージャーナビ機能<sup>※6</sup>」を搭載しており、一般X線撮影にて、撮影する向きや撮影条件の誤りなどが発生した場合に必要な再撮影の低減に貢献する。

※1 SynergyDriveはワークフロー向上技術の総称。AI技術のひとつであるMachine Learningを活用して開発した機能を含む。導入後に自動的に装置の性能・精度が変化することはない。

※2 被検者が入る装置開口部を大口径(ワイドボア)にし、より快適な検査空間を実現した磁場強度1.5テスラのMRIシステム。

※3 AI技術のひとつであるMachine Learningを用いて開発。導入後に自動的に装置の性能・精度が変化することはない。

※4 AI技術の一つであるDeep Learningを用いて開発・設計したもの。導入後に自動的に装置の性能・精度が変化することはない。

※5 オプション。対象部位は、胸部、頭部、膝、下腿、足、手であり、撮影前に必ず被検者を目視して確認する必要がある。

※6 オプション。撮影前に必ず被検者を目視して確認する必要がある。